

ごみは資源に

さて、遊佐町からでたごみは、集落のごみステーションから酒田市広栄町にある酒田地区広域行政組合施設等に運ばれ処理されていますが、その総量は平成22年度で約4,583t（自己搬入分も含む）。平成21年度は約4,707tだったので、町民の皆さんのご協力で2.6%減少している計算です。



生活していく中でごみは必ず発生します。しかし、現在はごみを分別して捨てることで再利用できる仕組みが整いつつあります。この頃、テレビ・ラジオで「これは、ごみではありません。資源です」というコマーシャルが流れていますが、ごみは、しっかり分別すれば資源として再利用できるものが多いのです。

今、困っていることは、埋め立てごみ（赤い字の袋）の分別です。埋め立てごみに資源ごみが多く含まれているため、ごみステーションから搬入されてきたごみ袋を再分別している状態です。

簡易ガスコンロのカセットボンベやスプレー缶などは、爆発事故につながりますので、使い切った後、釘などで穴を開けて資源ごみとしてお出してください。

日々の生活の中で発生したごみは、皆様の分別で資源に変わります。協力をよろしくお願いいたします。